

# ロナルド=トビ先生 来道記念講演会

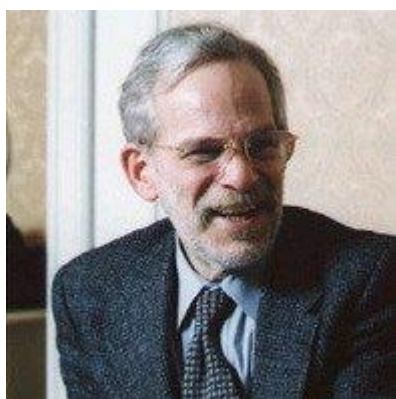
「容姿と装束にみる近世日本

——近隣異国像と自己像——」

## 2016年10月17日(月)

◆開催時間 18:30～20:30

◆場 所 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟(W棟)202教室



米国イリノイ大学名誉教授。1942年生まれ。コロンビア大学博士。専攻は日本近世史。第1回日本研究功労賞受賞。小学館版「日本の歴史」シリーズ編集委員等を歴任。2000-02年度、東京大学大学院人文社会系研究科教授。斬新かつ鋭利な視点で、日本近世史・東アジア国際関係史研究の発信を続けている。近世日本を単純に「鎖国」としてのみ捉えることをいち早く批判し、とくに日朝関係に軸足をおきつつ、近世の国際関係史を塗り替えてきた。その最

初の成果が、早くから邦訳され、いまや古典的地位をしめる『近世日本の国家形成と外交』（速水融・川勝平太ほか訳）創文社、というモノグラフである。同書の出現は、歴史学界に大きなインパクトを今なお与え続けていると言ってよい。近年の著作として、『「鎖国」という外交（全集 日本の歴史 9）』小学館、があり、外交貿易史に留まらない、社会史的・人類学的な歴史叙述を展開している。今回は、ロナルド=トビ先生の初めての来道の機を捉え、おもに表象文化論的な観点から、最新の“鳶(とび)史学”の粋を御披露いただく。

【主催】北海道大学日本史学講座 【共催】北大史学会

【後援】北海道大学アイヌ・先住民研究センター

【お問い合わせ先】橋本 雄（北海道大学文学部）011-706-2869